

# 平成31年度 学校自己評価システムシート ( 県立上尾橋高等学校 )

目指す学校像	地域に根ざし、生徒一人ひとりを伸ばし、自立(律)して社会を支えられる人間を育てる。
--------	---

重点目標	1 社会に通用する言葉遣い、身だしなみ、マナーを身に付けさせる効果的な生徒指導を推進する。 2 基礎学力向上のための指導技術研究と新しい学習指導要領の「深い学び」への対応を進める。 3 就職内定率を維持しながら、進学希望への対応も一層充実させる。 4 地域に根ざし、信頼される開かれた学校づくりを進める。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	12名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標		
1	<p>〔現状〕 生徒の基本的な生活習慣や規律意識は改善傾向にあり、協調性も向上している。遅刻指導も成果を上げているが、なお改善の余地がある。中途転学、進路変更の生徒はなおある。</p> <p>〔課題〕 生徒指導と学習指導が連動し、生徒の高校生活を充実させる仕組みを作ることが必要である。</p>	<p>○規範意識の醸成に向けた取り組みにより、基本的な生活習慣の確立を図る。</p> <p>○学校行事や部活動を充実させ、生徒の自立(律)意識の向上を図る。</p>	<p>①生徒の模範となる正しい言葉遣い、毅然とした指導、受容的な指導を進める。 ②遅刻指導を生徒指導部を中心に教職員全体で取り組む。また教務部を中心に皆勤を奨励する取り組みを実施する。 ③学校と家庭、関係機関と情報共有、連携して生徒の生活改善に取り組む。</p> <p>①生徒会本部を中心に、学校行事や部活動、ボランティア活動等の参加意欲を高め、生徒が主体的に活躍する場を設け、取り組む活動を進める。 ②教育相談委員会を中心に、スクールカウンセラーの活用や外部機関との連携を強め、教育相談体制を充実させる。</p>	<p>①②③アンケート結果やPTAからの意見で「信頼される学校である」の割合が90%以上か。 ②遅刻、欠席件数がそれぞれ5%以下か。 ③皆勤者率が20%以上か。 ①②③学校自己評価アンケートで、基本的な生活習慣に関する内容の達成度が50%以上か。</p> <p>①②学校自己評価アンケートで、学校行事や部活動等に関する内容の満足度が50%以上か。 ①部活動の加入率50%以上、継続率70%以上を達成できたか。 ②教育相談体制の生徒、保護者の満足度は90%以上か。</p>	<p><b>遅刻・欠席は減少傾向にあり、粘り強い継続的な指導の成果が上がっている</b> ①②③保護者の学校の指導に対し、肯定的な意見の割合は90%前後である。 ②遅刻件数5.0%、欠席件数7.9%であり、減少傾向にあるが、早退数が増加傾向にある。生活リズムの乱れからくる体調不良も一因であると思われる。生活リズム確立への働きかけを強め、早退数減少につなげる必要がある。 ③無欠席、無遅刻、無早退数116人、28%である。(1/23現在) ①②③基本的な生活習慣に対し、およそ90%の生徒が肯定的に取り組んでいる。</p> <p><b>生徒の意識・満足度は横ばいであり、生徒を積極的に参加させる意識づけが必要である。</b> ①②学校行事、ボランティア活動に対し、80%台半ばの生徒が肯定的に取り組んでいる。 ①校外で芸術鑑賞会を実施した。情操教育だけでなく、公共マナー意識を啓発することができた。 ②部活動加入率は43%であったが、継続率は80%を超えている。 ②教育相談体制の生徒・保護者の満足度は70%台後半であった。</p>	<p>A</p> <p>長期欠席の生徒、遅刻が常習化している生徒が目立つ。基本的な生活習慣確立や生活リズムの大切さ、健康への意識づけが必要であり、家庭への情報発信とともに家庭とのさらなる連携が必要である。</p> <p>B</p> <p>学校行事・部活動に生徒を積極的に参加させるためのさらなる工夫が必要である。また活動の中で、個々に対応した生徒指導で生徒を成長させるためにも担当者だけでなく、学校全体で情報を共有し、教育活動を考え、工夫する必要がある。</p>
2	<p>〔現状〕 授業に熱心に取り組む生徒が多いが、生徒の学力の幅が大きい。</p> <p>〔課題〕 義務教育段階での学習のつまづきのある生徒の基礎学力の定着をさせるとともに成績上位者をさらに伸ばすことが必要である。</p>	<p>○授業規律の確立 ○基礎学力の定着と学習意欲を伸ばすための授業力の向上 ○進学・資格取得・学び直しの学習指導 ○研修会への参加</p>	<p>①チャイム着席、授業規律を徹底し、授業を大切に育てる。 ②学び直しによる基礎基本の学力の向上を図り、学びに対する自信を取り戻し、学ぶ意欲を向上させる。 ③主体的・対話的で深い学びを実践するため、指導技術の向上を図る。 ④学期中や長期休業中の進学補習、資格取得補習、定期考査前の補習(放課後寺子屋)を実施する。</p> <p>①②③④学校自己評価アンケートで、学習指導に関する内容の満足度が50%以上か。 ①チャイム着席・始業は習慣化しているか。 ②成績優良者は12%以上か。 ②③各教科で新学習指導要領を踏まえたカリキュラムマネジメント、深い学びを実践するための指導技術改善について検討されたか。 ④進学補習、放課後寺子屋の参加者が増えたか。 ④資格取得者数が300名以上か。</p>	<p><b>安心、安全な学習環境になり、前向きに学習に取り組む生徒が増加している。</b> ①②③④「わかる・できる・自信がついた」という生徒の割合は80%台半ばを維持している。習熟度別授業や少人数授業、教科指導研究など職員の地道な努力による学び直しの成果が上がってきている。 ①学年団の指導により、生徒は時間を守り、きちんとした姿勢で授業を受けるということが身についてきている。 ②進学補習、放課後寺子屋への生徒の参加率は増加傾向にあるとともに家庭学習をする生徒の割合が大幅に増加している。 ②成績優良者の割合は11%であった。 ②③指導主事を招いた研究協議や授業公開月間を設け、授業研究を行うなど、学習指導技術向上を図っている。新学習指導要領実施に向け、教育課程委員会を5回開催し、教育課程編成をすすめるなど本校の状況を踏まえたカリキュラムマネジメントを行っている。 ④資格取得者数はのべ397名(12/31現在)である。</p>	<p>A</p> <p>ブラッシュアップタイムなどの学び直しの工夫により、半数以上の生徒が学習活動に対して、積極的かつ前向きに取り組む、成長している様子が見える一方、欠点者数は横ばいであり、指名制の学習会など欠点を取らせないための指導が進んでいない。アドバンスコースや成績上位者への進学指導は、まだまだ改善の余地がある。</p>	
3	<p>〔現状〕 学校紹介による就職内定率は、ほぼ100%であり、進学実績も向上している。</p> <p>〔課題〕 生徒個々の資質、適性にあった進路決定をさらに進めるため、進路意識を向上させることが必要である。</p>	<p>○計画的・継続的な進路指導の実施と生徒全員の進路実現を図る。</p>	<p>①進路指導部と学年の連携により、進路ガイダンス、見学会、体験活動等の進路行事を適切な時期に効果的に実施し、生徒の進路意識の高揚、自己理解の進化を図る。 ②生徒の進路実現に向けて、組織的に補習や個別相談、面接指導をより多く設定し実践力を養い、高い進路意識を持たせ、進路を実現させる。 ③進路情報、生徒情報を進路指導部、学年、保護者と共有し指導にあたる。</p> <p>①②③学校自己評価アンケートで、進路指導に関する内容の満足度が90%以上か。 ②就職に向けての一般常識問題対策指導を30時間以上行ったか。 ②面接指導を生徒一人あたり5回以上行ったか。 ②進路決定者数の割合が90%以上を維持できたか。 ③保護者への進路情報発信ができたか。</p>	<p><b>進路指導に対する満足度は高い。</b> ①②③進路指導に関する指導の満足度は生徒86%、保護者91%であった。昨年度より上回っている。 ②面接指導はのべ682回、一人あたり5回以上達成した。その他に個別の指導も数多く行った。 ②一般常識問題対策指導を総学やLHRだけでなく、SHRでも行い、30時間以上の指導を達成した。 ②就職内定率100%(2/3現在)、進学の合格者数63名である。 ③「進路通信」を3回発行するとともに2学年保護者向けの進路講演会を実施した。</p>	<p>A</p> <p>1年時から生徒だけでなく、保護者に向けて、学費等の進学情報を発信していくなど、進路指導についてはさらに改善が必要である。</p>	
4	<p>〔現状〕 地域との交流、地域への情報発信は行っており、地域と連携した開かれた学校づくりを推進している。</p> <p>〔課題〕 中学校の教職員や保護者に面対見の良い学校であることをPRし、入学志願者の増加を図ることが必要である。</p>	<p>○生徒・PTA活動の様子など本校の良さを保護者、地域、中学生に発信し、連携を深める。</p>	<p>①各分掌、生徒募集委員会の連携により、HP更新頻度を高める、広報誌の配布地域を拡大するなど積極的な情報発信を図る。 ②体験入学、学校説明会、文化祭で個別相談会を実施するなど、生徒募集活動の改善を図る。 ③保護者や地域と連携した活動を推進する。 ④生徒会を中心とした地域連携活動を実施する。</p> <p>①学校説明会の参加者数が500人以上か。 ①②HPの更新回数が200回以上か。 ①②10月、12月時点での本校の希望者数が120名以上か。 ③④学校と地域との連携・交流する機会が昨年度より増えたか。 ③保護者の学校行事参加数は昨年度より増えたか。 ④生徒主体の地域連携活動ができたか。</p>	<p><b>目標とした120名には及ばないが、本校への志望者数は増加した。小高連携事業も拡大した。</b> ①7回の募集行事に660名超の中学生、保護者が参加した。参加者のアンケート結果はHPに掲載し公開している。 ②学校HP更新はシステムの変更もあり、200回以上の更新に至らなかったが、週1度のペースで更新した。 ①②本校の希望者数は昨年度より実数で18人、率で23%増加した。(12/15現在) ③④近隣の小学校との「スポーツ交流事業」は昨年度より拡大した。</p>	<p>B</p> <p>地域社会とWin-Winな関係づくりの構築のために、積極的な情報発信など積極的な活動が必要である。募集行事の参加者アンケートの結果から、部活動見学を希望する声があり、来年度に向けて改善の余地がある。</p>	

学校関係者評価
実施日 令和2年2月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>・HRでは少人数学級編制、授業では習熟度別授業展開・少人数授業展開を実施していることを活かし、今以上に生徒一人一人に寄り添い、理解してほしい。 ・長期欠席者の減少に向けた取り組みを工夫してほしい。 ・遅刻減少への取り組みが功を奏している。しかし、一部の常習者数の減少は難しい課題だ。</p> <p>・就労体験活動は重要な取り組みであり、事業所・保護者・生徒のアンケート結果を見ると成果は上がっている。このシートにも、その内容について載せるべきである。 ・目的を持つ子どもたちは変わってくる。生徒たちが目的を持つような授業を促進してほしい。</p> <p>・学び直しの指導は本校の現状にあった指導で非常に良く、生徒をよく支えている。 ・授業について、「わかる・できる・自信がついた」という生徒数が増えていることがたいへん良い。しかし、欠点者数が横ばいなので、欠点者数減少にむけて取り組みを強化してほしい。学校として進学補習や放課後寺子屋の取り組みをさらに進めてほしい。</p> <p>・進路指導では、面接指導・一般常識問題対策指導・進学指導などに学校として、しっかり取り組むことで就職内定率100%などの結果が出ているのは素晴らしい。</p> <p>・地元地域とのWin-Winな関係(助け合いの関係、頼りにするされるの関係)構築のための校内体制づくりを期待している。東北支援ボランティアも大事だが、地元地域へも協力活動・ボランティア活動がもっとあっても良かった。</p>